

2014年2月13日

各位

情報コミュニケーション学会 会長 阪井和男
第11回全国大会実行委員会 委員長 丹羽量久

情報コミュニケーション学会第11回全国大会のご案内

本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究を通じてよりよい教育をおこなうための活動を行っております。

このたび、長崎大学にて2014年3月1日～2日に開催されます、情報コミュニケーション学会第11回全国大会についてご案内いたします。

この全国大会は会員だけでなく広く公開された大会になっておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

テーマ 『21世紀をつなぐ情報とコミュニケーション ～自律と協働、そしてSNS～』
期 日 2014年3月1日(土)～2日(日)
会 場 長崎大学 文教キャンパス 教養教育講義棟(環境科学部と同じ棟です)(長崎市文教町1-14)

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html>

※大会当日は駐車スペースがございませんので、公共交通機関でお越し下さい。

主 催 情報コミュニケーション学会
共 催 長崎大学情報メディア基盤センター
後 援 長崎大学

参加費等 該当する合計金額を事前にお振り込みください。
参加費：1,000円(必須ただし学部生は無料) 論文集：3,000円(希望者のみ)
懇親会費：2,500円(希望者のみ：10周年記念パーティー参加費)
※振り込み方法につきましては、全国大会のWebページをご参照ください。

<http://www.cis.gr.jp/zenkoku.html#zenkoku11>

※当日支払いの場合は、参加費：2,000円、懇親会費：3,000円となります。

参加申込 特に必要ありません。

日 程

【第1日 3月1日(土)】

9:30：受付開始

10:00～11:00：一般研究発表Ⅰ(3分科会×3発表)

11:10～11:40：企業による展示説明

11:40～12:10：企業展示(10:00～13:30にご覧いただけます)

12:10～13:10：昼食休憩、企業展示

13:10～14:10：一般研究発表Ⅱ(3分科会×3発表)

15:00～17:00：10周年記念事業（長崎ワシントンホテル）

17:45～19:45：懇親会（長崎ワシントンホテル）

【第2日 3月2日(日)】

8:45：受付開始

9:00～10:00：一般研究発表Ⅲ（3分科会×3発表）

10:10～11:30：招待講演

山地弘起氏（長崎大学 大学教育イノベーションセンター 教授）

「コミュニケーションの土壌を探る ―外舞台と内舞台の人間模様―」

11:40～12:00：総会

12:25～13:20：昼食休憩，企業展示（9:00～13:20にご覧いただけます）

13:20～15:00：一般研究発表Ⅳ（3分科会×5発表）

連絡先 情報コミュニケーション学会第11回全国大会実行委員会

E-mail: cis11committee@ml.nagasaki-u.ac.jp

全国大会 Web ページ <http://www.cis.gr.jp/zenkoku.html#zenkoku11>

研究発表プログラムは別紙2をご参照ください。

以上

参加費等の振り込み方法

金額 参加費：1,000 円（必須 ただし学部生は無料）
論文集：3,000 円（希望者のみ）
懇親会費：2,500 円（10 周年記念パーティー参加費）
※当日支払いの場合は、参加費 2,000 円，懇親会費 3,000 円

以下口座に 2/27(木)までに振り込みをお願いします。その際、必ず、ご氏名を最初にご入力ください。領収書は全国大会の受付にてお渡しいたします。

恐れ入りますが、懇親会に参加される方は、2/20(木)までに指定口座への振り込みをお願いいたします。

なお、これらの日を過ぎますと当日お支払い扱いとさせていただきます。

● ゆうちょ銀行から振り込む場合

記 号： 17660

番 号： 26625061

口座名： 情報コミュニケーション学会第 11 回全国大会実行委員会

※ご注意 今回のお支払い方法は「払込取扱票」を用いるものではありません。

郵便局にて参加費等をゆうちょ銀行に振り込む方法は以下の二通りあります。

----- *ATMを利用して、郵貯口座から送金する場合

手数料無料ですが、参加者の郵貯口座から実行委員会の郵貯口座に送金することになります。

ATMにて[ご送金]→[ゆうちょ口座へのご送金]に進んでください。

(ご注意) [払込書での送金]に進んではいけません。

----- *窓口にて現金を支払う場合

「電信払込請求書・電信振り替え請求書」に記載の上、窓口にてお支払いいただけます。ただし、手数料が 525 円必要です。

● その他の金融機関から振り込む場合

金融機関名： ゆうちょ銀行

店名： 七六八 （読み：ナナロクハチ）

店番： 768

預金種目： 普通預金

口座番号： 2662506

以上

一般研究発表プログラム

3月1日(土) 10:00~11:00 一般研究発表 I

A 1 ソーシャルネットワーク A21 教室 10:00~11:00

座長：田中康裕（専修大学） 畑耕治郎（大手前大学）

A1-1 ソーシャルメディアに対するユーザ受容の国際比較

—イギリス・韓国の比較—

○田中康裕（専修大学），小館亮之（津田塾大学）

A1-2 地方自治体におけるソーシャル・ネットワーキング・サービス活用の評価

○畑耕治郎（大手前大学），石橋裕基（一般財団法人関西情報センター）

A1-3 スターバックスが提供するカフェテリア空間の市場価値

○脇有夏里（摂南大学），高橋沙綾（摂南大学），針尾大嗣（摂南大学）

B 1 教育実践（1） A22 教室 10:00~11:00

座長：上繁義史（長崎大学） 五月女仁子（日本女子体育大学）

B1-1 大学新生の情報セキュリティに関する認識について

○上繁義史（長崎大学），柳生大輔（長崎大学），鈴木斉（長崎大学），古賀掲維（長崎大学），丹羽量久（長崎大学），藤井美知子（長崎大学），野崎剛一（長崎大学）

B1-2 女子体育大学における講義での Web 活用の実践と傾向について

○五月女仁子（日本女子体育大学）

B1-3 学校教育における Facebook 活用の一考察

—SNS を利用した学びの共有と振り返り—

○高野祐季（芦屋大学），藤本光司（芦屋大学）

C 1 モバイルコミュニケーション A23 教室 10:00~11:00

座長：伊藤一成（青山学院大学） 立野貴之（松蔭大学）

C1-1 大学生のケータイ利用に関する性差に注目した分析

○立野貴之（松蔭大学），加藤尚吾（東京女子大学），加藤由樹（相模女子大学），舘秀典（東京福祉大学）

C1-2 政策実現のための政府によるコミュニケーションの手法
—番号制度導入に向けたリレーシンポジウム開催を事例として—
本田正美（東京大学大学院）

C1-3 レポート提出における大学生のスマートフォン使用に関する分析
○舘秀典（東京福祉大学），加藤尚吾（東京女子大学），加藤由樹（相模女子大学）

3月1日（土）13:10～14:10 一般研究発表Ⅱ

A 2 ソーシャルメディアとソーシャル・キャピタル A21 教室 13:10～14:10

座長：針尾大嗣（摂南大学） 吉見憲二（早稲田大学大学院）

A2-1 日本音楽家間におけるソーシャル・キャピタル

○岡戸久実（早稲田大学大学院），吉見憲二（早稲田大学大学院），樋口清秀（早稲田大学大学院）

A2-2 オンラインコミュニティにおけるコミュニケーションの委縮に関する研究

○吉見憲二（早稲田大学大学院），針尾大嗣（摂南大学）

A2-3 宿泊客のリピート意向に影響を及ぼす宿泊施設サービスに関する一考察

—レビューデータをもとに構築した累積ロジットモデルを用いて—
○逢坂裕樹（摂南大学），吉見憲二（早稲田大学），針尾大嗣（摂南大学）

B 2 情報活用 A22 教室 13:10～14:10

座長：柳生大輔（長崎大学） 寺尾敦（青山学院大学）

B2-1 電子ブック端末の講義におけるネットワーク利用環境に関する一検討

○柳生大輔（長崎大学），野崎剛一（長崎大学），上繁義史（長崎大学）

B2-2 純文学賞受賞作品の文体における客観的情報

○戸寄ひかる（早稲田大学大学院），樋口清秀（早稲田大学大学院），吉見憲二（早稲田大学大学院）

B2-3 ポートフォリオシステムによる大学適応感・教員就職意欲の可視化とその効果

○阿部慶賀（岐阜聖徳学園大学），吉澤寛之（岐阜聖徳学園大学），秋山晶則（岐阜聖徳学園大学），佐藤善人（岐阜聖徳学園大学），玉井颯一（名古屋大学）

C 2 教育支援 A23 教室 13:10~14:10

座長：後藤晶（山梨英和大学） 松永公廣（名古屋学院大学）

C2-1 長崎大学附属図書館による教養教育科目の授業支援

○松田綾（長崎大学），山本知美（長崎大学）

C2-2 1人1台端末の教育環境におけるサポートデスクの役割と今後の展望

—山梨英和大学の試み—

○後藤晶（山梨英和大学），杉浦学（山梨英和大学），秋月拓磨（山梨英和大学），難波道弘（山梨英和大学），高橋弘毅（長岡技術科学大学）

C2-3 カタストロフによる協力行動の促進メカニズムに関する一考察

—Catastrophe Cooperation Model の検討—

後藤晶（山梨英和大学）

3月2日（日）9:00~10:00 一般研究発表Ⅲ

A 3 コミュニケーション（1） A21 教室 9:00~10:00

座長：加藤尚吾（東京女子大学） 小田桐良一（園田学園女子大学）

A3-1 大学生の Twitter の使用の性差に関する分析

—複数アカウントの所持と個人情報の公開に注目して—

○菊池沙矢香（東京女子大学大学院），加藤尚吾（東京女子大学）

A3-2 会話回数に基づく Twitter 上での友達数上限に関する分析

清水將吾（学習院女子大）

A3-3 気配を気付かせるゆるやかなコミュニケーションに関する検討

○小田桐良一（園田学園女子大学），稲熊孝直（園田学園女子大学）

B 3 教育システム A22 教室 9:00~10:00

座長：岩井憲一（滋賀大学） 工藤英男（大阪成蹊大学）

B3-1 指導案を利用した教員研修のためのオンラインカンファレンスシステム TeaParty の試作

岩井憲一（滋賀大学）

B3-2 エゴグラムのための Web システムの構築と試用

○富島磨由美（太成学院大学），小高恵（太成学院大学），吉川博史（太成学院大学），工藤英男（大阪成蹊大学）

B3-3 大学での学びを見据えた教科情報の教育

—高大連携授業を通して専門分野、そして社会での役割を知る—

○宇野美和（大阪成蹊女子高等学校）、田中浩子（大阪成蹊大学）

C 3 教育実践（2） A23 教室 9:00～10:00

座長：西端律子（畿央大学） 二木映子（宇部工業高等専門学校）

C3-1 特別支援教育におけるデジタル教材の活用について

—質問紙調査およびインタビュー調査の結果より—

○喜多智大（畿央大学）、西端律子（畿央大学）、高橋浩（奈良県立奈良養護学校）、藤川良純（奈良県立奈良養護学校）、澤井直子（奈良県立明日香養護学校）

C3-2 FFS 理論を活用したラグビーフットボールの最適チーム編成（2）

—生徒の変容とチーム力の向上—

○小澤俊介（芦屋大学）、藤本光司（芦屋大学）

C3-3 工業高校におけるコミュニケーション演習と能動的学習(3)

—ものづくりを通して社会人基礎力の育成をめざした授業実践—

○堀木実（京都市立洛陽工業高等学校）、長谷川友樹（京都市立洛陽工業高等学校）、山田康雄（京都市立洛陽工業高等学校）、森口勇（京都市立洛陽工業高等学校）、中村久美子（京都市立洛陽工業高等学校）、松岡久雄（京都市立洛陽工業高等学校）、藤森宏美（京都市立洛陽工業高等学校）、坂根正敏（京都市立洛陽工業高等学校）、赤尾修二（京都市立洛陽工業高等学校）、恩田徹（京都市立洛陽工業高等学校）、藤本光司（芦屋大学）

3月2日（日）13:20～15:00 一般研究発表Ⅳ

A 4 教育デザイン A21 教室 13:20～15:00

座長：太田和志（東大阪大学短期大学部） 阿部慶賀（岐阜聖徳学園大学）

A4-1 タイプ練習ソフトを利用した学生の練習効果分析

○二木映子（宇部工業高等専門学校）、藏崎華織（宇部工業高等専門学校）、戀河内敦（宇部工業高等専門学校）、丹羽量久（長崎大学）、藤井美知子（長崎大学）

A4-2 ネットショップ作成演習の授業デザインと実践評価

嶋谷真知子（東大阪大学短期大学部）、太田和志（東大阪大学短期大学部）、○松永公廣（名古屋学院大学）

A4-3 PBL のピアエデュケーション効果を高める授業環境デザイン

○木村敦（東京電機大学）、武川直樹（東京電機大学）

A4-4 情報環境学科学生による SNS 市民講座の実践

○星野智子（東京電機大学）、河合奈都子（東京電機大学）、山本佑典（東京電機大学）、大沼美由紀（東京電機大学大学院）、木村敦（東京電機大学）

B 4 コミュニケーション（2） A22 教室 13:20～15:00

座長：加藤由樹（相模女子大学） 藤本光司（芦屋大学）

B4-1 デジタルネイティブが上の世代との携帯電話を使ったコミュニケーションにおいて持つ違和感に関する調査

○加藤由樹（相模女子大学）、舘秀典（東京福祉大学）、加藤尚吾（東京女子大学）、立野貴之（松蔭大学）、千田国広（東映アニメーション株式会社）

B4-2 大学での講義中のスマートフォンの私的使用

○寺尾敦（青山学院大学）、伊藤一成（青山学院大学）

B4-3 企業において必要とされるコミュニケーションスキル

—仕事をスムーズに行うために情報伝達のためのスキルとそのスキルを明確にするためには—

安部民枝（株式会社アセンディア）

B4-4 中学校技術科における材料加工の教材開発（1）

—地震災害に視点をおいた教材の一考察—

○森岡佑介（芦屋大学）、藤本光司（芦屋大学）

B4-5 初年次教育におけるコミュニケーションデザイン（3）

—基礎演習の授業アンケートによる評価と課題—

○藤本光司（芦屋大学）、山中俊一（芦屋大学）

C 4 教育方法 A23 教室 13:20～15:00

座長：浅羽修丈（北九州市立大学） 阪井和男（明治大学）

C4-1 教育・学習モデルに基づいた事後教育システムの提案

○橋本はる美（摂南大学）、堀井千夏（摂南大学）、佐井英子（摂南大学）

C4-2 iPad と Moodle を用いた大学授業の試行

○岩崎日出夫（東海大学）

C4-3 視聴者コメントが流れる映像に対して時系列に変化する印象を捉える試み
—ドラマ仕立て CM を対象にした面白さの調査—

○浅羽修丈（北九州市立大学），斐品正照（東京国際大学）

C4-4 社会との協働プロジェクトにおける学生の情報共有

○大岩稔生（摂南大学），久保貞也（摂南大学），牧野幸志（摂南大学）

C4-5 東日本大震災ニュースソースとタブレット型電子デバイスのクラウド活用による科学的
思考法ワークショップにおける教育効果の解析

○阪井和男（明治大学），永井優子（明治大学），齊藤博美（ユニアデックス株式会社），今
道正博（日本ユニシス株式会社）

以上